

錦上添花

錦ヶ丘中学校
学校便り
4月12日発行 NO.1
文責 出崎友英

大切にしよう。4つの「あい」

新学期のスタートから4日が過ぎました。

始業式、入学式、朝の登校の明るい雰囲気、元気なあいさつ…。この1週間のいろいろな場面の皆さんの姿に、とてもうれしく感じています。

生徒の皆さん、新学期のスタートはどうですか？

新たなスタートに気持ちは前向きになっていますか？

私は4月9日の始業式で、2、3年生に向けて新年度のスタートにあたって大切にしてほしいことを、「あい」をキーワードにして4つあげました。

① であい

友達や先生との新しい出会いがたくさんありました。「人は人生の中で、会うべき人には必ず会える。」という言葉があります。ぜひ、この出会いを大切にしましょう。

最初はどうしても、「前のクラスや先生がよかったなあ。」と感じることもあるでしょう。それは、これまで共に過ごし、時間をかけて親しんできた先生や仲間だったのだから当然です。だけど、新しいクラスにも、あなたとの出会いを待っていた人が必ずいます。今のクラスにしっかりと自分の居場所をつくるには、この新しい出会いに自分から積極的に踏み出していくことが大切だと思うのです。

② あいさつ

出会いを大切にするためにも「おはようございます。」「こんにちは。」「ありがとうございます。」のあいさつの言葉を自分から言ってみましょう。

最初ははずかしくても、少しの勇気を持つことで案外できるようになるものです。今まで大きな声であいさつできなかった人も、今こそ自分を伸ばすチャンスです。

③ あいて

あなたの隣にいる友達、あなたに話かけている先生や先輩、友達。部活動で共に練習する仲間たち。通学路で出会う地域の人たち…。

日々の生活の中で出会うそんな相手を大切にしよう。相手を大切にするためには相手の側、立場になって物事を考え、行動する姿勢、思いやりが必要です。

相手の側になって考え、行動する人たちが集まっているクラスや学年、部活動、そして学校には仲間はずれやいじめなど絶対にありませんね。

④ I (アイ)

英語でIとは、「自分」のこと。

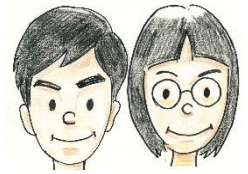
この世に生を受けた大切な自分。かけがえのない自分。そんな自分を大切にしよう。あなたの命はあなただけのものではないことを絶対に忘れないで下さい。

自分を大切にすることとは、そのままの君でいいということではありません。自分を日々向上させていく努力を怠らないようにしましょう。昨日の自分を今日越えよう。今日の自分を明日越えよう。時に思うようにならないことがあっても、自分の可能性を信じてあきらめないでがんばり続けていこう。

新たなスタートは誰でも不安です。そんな時期だからこそ、自分でがんばることを決めて取り組んでみよう。

まずは一歩前に踏み出してみることで、今まで自分でも気がつかなかった「新しい自分」との出会いもきっとあるはずです。

さあ錦ヶ丘中令和6年度のスタートです。みんなではりきっていきましょう！



入学式でした。

4月10日(水)は**入学式**でした。256人の新入生が錦ヶ丘中学校に入学しました。式に向けて「入学おめでとう」「ようこそ、錦ヶ丘中へ」の真心を込めて、2、3年生と先生方で準備してきました。吹奏楽部の演奏での入退場、新入生の皆さんの元気な返事や新入生代表の「誓いの言葉」、在校生代表による校歌紹介の歌声等、一生懸命さが伝わってきました。入学式に参列されたご来賓の方が式終了後に、「涙が出ました。」と言って帰られました。あたたかくてすてきな入学式でした。



▲ 在校生代表による校歌紹介

錦上添花について

本校の「学校便り」を担当します校長の出崎友英(でざきともひで)と申します。この学校便りの名前を『錦上添花(きんじょうてんか)』としています。

「錦」の文字を含んだ4字熟語を探していて見つけた言葉です。あまり聞きなれない言葉ですが、「善美なものの上にさらに善美なものを加えること。本来美しい錦の上に、さらに美しい花を添えるという意味である。」という説明が書いてありました。

錦ヶ丘中がこれまでに培ってきた上質の伝統・文化の上に、今の生徒、職員でさらに新たな良きものを加えていこうという思いで、このタイトルにしました。

この学校便りで、学校の出来事や校長としての思いなどを綴ることを通して、錦ヶ丘中の生徒や先生方の取組の様子などをお伝えしていきたいと思っています。

どうぞ、よろしく申し上げます

夢は見るものではなく、叶えるものです。
たとえ叶わなくても、叶えるために努力する道のりが
私は夢だと思っています。 安蘭けいさんの言葉より

